

⑩ 日本国特許庁(J P)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭64-42010

⑬ Int. Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和64年(1989)3月14日

A 61 B 5/14

3 0 0

D-7831-4C

審査請求 未請求 (全3頁)

⑮ 考案の名称 採血用ランセット装置

⑯ 実 願 昭62-137195

⑰ 出 願 昭62(1987)9月7日

⑱ 考 案 者 向 井 藤 司 滋賀県草津市岡本町字大谷1000番地の2 ダイキン工業株式会社滋賀製作所内

⑲ 考 案 者 浜 田 和 雄 兵庫県明石市大久保町高丘3丁目1-1 20-303

⑳ 考 案 者 山 本 弘 美 奈良県五條市住川町677-4

㉑ 考 案 者 伴 満 雄 大阪府寝屋川市大字太秦1011-1-417

㉒ 出 願 人 ダイキン工業株式会社 大阪府大阪市北区中崎西2丁目4番12号 梅田センタービル

㉓ 代 理 人 弁理士 津川 友士

㉔ 実用新案登録請求の範囲

- 1 ケーシングに対してランセットを進退可能に設け、ランセットを進退させることにより採血動作を行なわせるようにした採血用ランセット装置において、ランセットと一体的に設けられた係合部と、付勢手段により常時一方向に回動付勢され、かつ係合部と常時係合されて、回動動作に追従してランセットを進退させる係合部が形成された回動体と、回動体の付勢方向への回動を阻止する状態と回動許容状態とを選択する状態選択手段と、回動体を復動させる復動レバーとを具備することを特徴とする採血用ランセット装置。
- 2 ランセットと一体的に設けられた係合部が係合ピンであり、回動体に形成された係合部がカム溝である上記実用新案登録請求の範囲第1項記載の採血用ランセット装置。
- 3 ランセットと一体的に設けられた係合部がカム溝であり、回動体に形成された係合部が係合ピンである上記実用新案登録請求の範囲第1項記載の採血用ランセット装置。
- 4 カム溝が、係合ピンと中央部において係合した状態でランセットを最も前進させ、係合ピンと両端部において係合した状態でランセットを最も後退させるものである上記実用新案登録請求の範囲第1項から第3項の何れかに記載の採

血用ランセット装置。

- 5 カム溝が、中央部を境界として互に対称に、かつ直線状に延びている上記実用新案登録請求の範囲第4項記載の採血用ランセット装置。
- 6 状態選択手段が、回動体の所定位置に形成された係合部と係合して付勢方向への回動を阻止する回動レバーと、回動レバーを、上記係合部と係合する方向に回動付勢する付勢手段とを有するものである上記実用新案登録請求の範囲第1項記載の採血用ランセット装置。
- 5 ケーシングが、後退状態におけるランセットの先端よりも前側に位置するマーク部材を有している上記実用新案登録請求の範囲第1項記載の採血用ランセット装置。
- 6 マーク部材が、進退可能であるとともに、後退状態において、前進状態におけるランセットの先端よりも後側に位置するものである上記実用新案登録請求の範囲第5項記載の採血用ランセット装置。

図面の簡単な説明

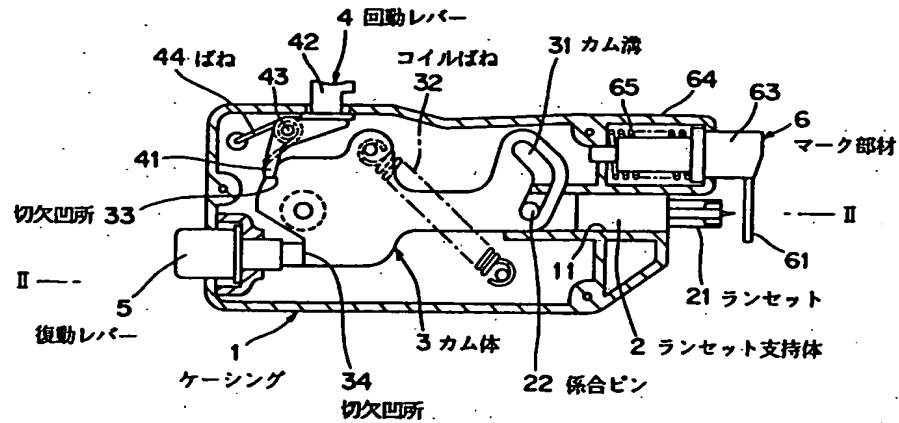
第1図はこの考案の採血用ランセット装置の一実施例を示す縦断面図、第2図は第1図のⅡ-Ⅱ線断面図、第3図は第1図の右側面図、第4図は穿刺動作を説明する図、第5図は他の実施例を示す縦断面図。

1……ケーシング、2……ランセット支持体、

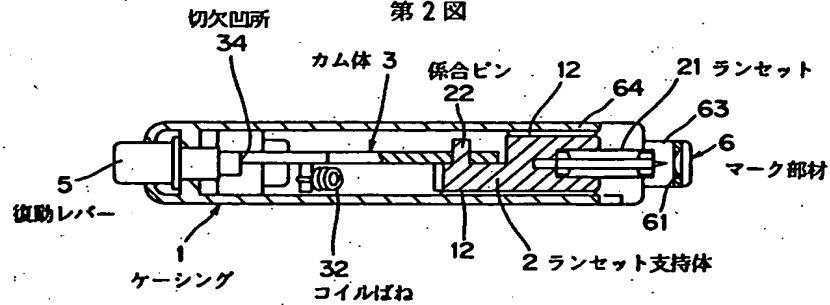
実開 昭64-42010 (2)

3……カム体、4……回転レバー、5……復動レバー、8……マーク部材、21……ランセット、  
22, 35……係合ピン、23, 31……カム溝、32……コイルばね、33, 34……切欠凹所、44……ばね。

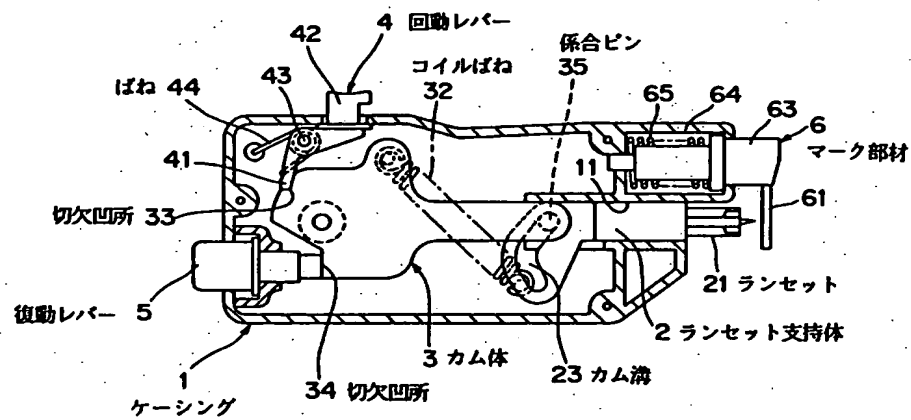
第1図



第2図

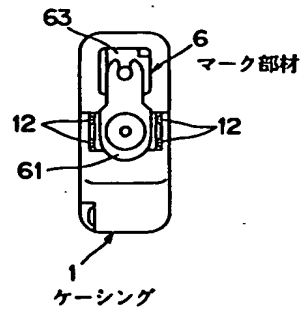


第5図



実開 昭64-42010 (3)

第3図



第4図

